



中干しにはちょっと早い

莖数 12 本 / 株 (60 株植えの場合)



これが適期！

莖数 18 本 / 株 (60 株植えの場合)



これでは遅い

莖数 25 本 / 株 (60 株植えの場合)

中干しは適期に行いましょう！

近江米振興協会

中干しの効果とポイント

- 無効分げつの発生を抑制し、稲の健全な生育が図れます。
- 根の張りが良くなり、登熟期の高温に負けない稲になります。
- 倒伏しにくくなり、台風にも負けないガッシリとした稲になります。
- 乳白米の発生を抑え、粒厚向上につながり、品質の良いお米になります。



そのため、中干しは必ず行いましょう!

● 開始時期のめやす (自然減水を利用して始めましょう)

- ① 70株/坪植え → 14~15本/株
- ② 60株/坪植え → 17~18本/株
- ③ 50株/坪植え → 20~21本/株

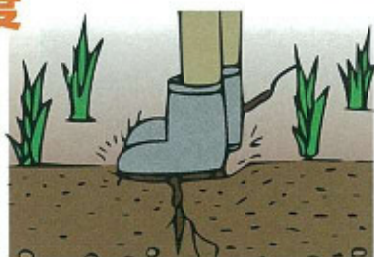
※例えば60株/坪植えで平年の天候なら、
「連休植え」の場合…6月初旬から
「遅植え(5/15頃)」の場合…6月中旬から

裏面の
写真参照

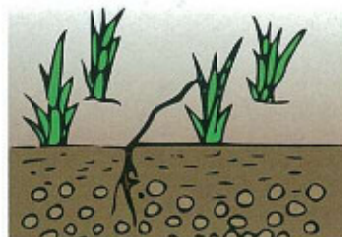
● 中干しの程度

注意!

軽く足跡が
つく程度



半湿田では足がしずむ程度



乾田では弱いヒビが入る程度

過度の中干しは、根を傷めたり、田の水保ちが悪くなる原因となります。**大きなひび割れが入らない程度**にしましょう。また、中干しをする際に溝切りを行っておくと、その後の水管理がしやすくなります。

中干し期間のめやすは7~10日間です。

「溝切り」を行いましょう!

- 収穫直前まで入水でき、白未熟粒や胴割粒が減り、品質・収量も向上します。
- 入水、排水がスムーズ(効率的な水利用)に行えます。
- 「溝切り」は最低でも10a 当たり一本は設置しましょう。

【麦・大豆栽培につながる溝切り作業】

- 跡作に麦を作付けされる場合、溝切りした溝が、麦の排水対策にも有効に活用できます。

